

教育フォーラム 8/18(金) 17:00~19:30

子どもと教育について、憲法と子どもの権利条約の視点を大切にしながら、
 父母・保護者、市民、教職員、教育関係者でともに語り合しましょう。

フォーラム名	何を話し合いたいのか
A 子ども時代を デザインする	<ul style="list-style-type: none"> ○コロナ禍が子どもたちにもたらしたものは何か？ これからの育ちに必要なことは？ ○子どもが「いばしょ」と感じられる環境を保障するためにできることは？ ○デジタル環境を生きる子どもたち。権利に根ざした子ども時代をデザインするために必要なことは？
B どうする？ 教育DX	<ul style="list-style-type: none"> ○教育DXって何？ 学校がどのように変えられようとしている？ ○他の国の教育DXはどうなっている？ ○教育データ活用は子どもの個人情報の保護ができるのか？ ○教育DXで子どもたちの「最善の利益」を保障した教育実践はつくれるのか？
C 多様性を尊重する 社会と教育とは	<ul style="list-style-type: none"> ○不登校や子どもの自殺の増加などは子どもたちの息苦しさを示している。一人ひとりのいのち・成長・発達を保障する教育とは？ ○国連障害者権利委員会の総括所見を、多様性を尊重する教育につなげるには何が必要か？ ○多様性、共生をどのように学ぶか？
D 戦争ではなく平和の準備を ~子ども・若者とつくる平和~	<ul style="list-style-type: none"> ○すすむ「戦争する国」づくりは、子ども、教育に何をもちこたすのか ○学校や職場、地域で、平和への思いをどのように語り合うのか ○子どもや青年の声を共有し、ともに考え、広げていこう
E 地域の学校を 守る共同の力 -統廃合、民営化ストップ-	<ul style="list-style-type: none"> ○東京都でも強引にすすめられている民間委託や統廃合、英語スピーキングテスト等、市場化の現状と、それに抗い、公教育を拡充させる共同のとりくみについて交流し考え合う

参加にあたって

参加券(資料代)について

- 開会全体集会・教育フォーラム・分科会に会場参加される場合は**参加券**が必要です。参加券は1000円(資料代)で購入下さい。

開会全体集会の オンライン視聴・参加について

- 開会全体集会是、YouTubeでの配信を視聴される方は無料でご覧いただけます。会場に来られる方は参加券をお持ち下さい。

教育フォーラムの オンライン参加・会場参加について

- 教育フォーラムは、オンラインでも参加いただけますが、参加券が必要です。オンラインにて参加を希望される方は、参加券に記載してあるURL(登録フォーム)から事前登録を行って下さい。会場に来られる方は登録は不要です。参加券をお持ち下さい。

分科会の会場参加について

- 分科会は、現地会場での開催となります。参加券が必要です。なお、本年はオンラインでの会議は行いません。
- 教育のつどいの運営の妨害、主催者・参加者への誹謗・中傷に当たる行動はかたく禁じます。退出いただく場合もあります。
- 参加者のプライバシー保護のため、録画・録音・撮影等は禁止します。分科会は記録のため、主催者が録画・録音する場合があります。
- 集会参加中、それぞれの団体・個人が行う集会・とりくみの宣伝、署名などの依頼はご遠慮下さい。

みんなで21世紀の未来をひらく 教育のつどい

教育研究全国集会2023 in 東京 2023年8月18日(金)・19日(土)・20日(日)
 憲法と子どもの権利条約がいきて輝く教育と社会を確立しよう



東京都公立中学校3年 安藤紗季さん(制作時2年)
 作者のコメント(一部抜粋)左から「戦争」:一人ひとりの未来が負の感情に押し潰され、自由が奪われる。「対策」:権力者の考えた偽りの平和の舞台に気づき、みんなで対抗する。「平和」:家族や大切な人がそばにいて、差別がない世界が本当の平和。

8月18日(金)

開会全体集会 13:00~15:40

東京都北区王子・北とびあ さくらホール(オンライン無料配信)

講演 浅井 春夫 さん

子どもを大切に する教育実践と 国のあり方を探求する

~子どもへの無関心の政治に抗して、私ができること~

浅井春夫さんのプロフィール

1951年、京都府南丹市生まれ。日本福祉大学大学院(社会福祉学専攻)修了。東京の児童養護施設で児童指導員として勤務。白梅学園短期大学保育科を経て、立教大学コミュニティ福祉学部教授。専門分野は、児童福祉論、セクソロジー(人性学)。現在、立教大学名誉教授、一般社団法人「人間と性」教育研究協議会代表幹事、子どもの権利条約NGO・市民の会共同代表など。近刊の編著書に『性教育バッシングと統一協会の罠』(新日本出版社)、『ジェンダー平等と包括的性教育』(新日本出版社 夏刊行予定)、『パンでわかる包括的性教育』(監修、小学館クリエイティブ)など多数。

開会全体集会是YouTube配信(無料)します。
 以下のURL又は右のQRコードで視聴できます。
 URL <https://onl.tw/4buSRVR>



現地
企画
子どもの声、願いを大切に
する
公教育を共同の力で

リレートーク形式で、給食無償化、子ども基本条例、障害のある子どもの学ぶ権利の保障、自治活動の保障、大学「改革」等、公教育を守り拡充するとりくみを報告します。

8月18日(金)

教育フォーラム 17:00~19:30
 (5つのフォーラム・都内各所)

8月19日(土)

分科会(都内各所)
 10:00~17:30

8月20日(日)

分科会(都内各所)
 9:30~16:00

※開会全体集会、教育フォーラム、分科会に参加される場合は参加券が必要です。参加券は資料代(1000円)で購入できます。

8/19(土)
10:00~17:30

教育のつどい

2023分科会

8/20(日)
9:30~16:00

1 国語教育

国語教育の変質・空洞化に抗して、人間的な成長をめざす教育活動としての国語教育を創造したいと思えます。具体的な実践を集めて語り合ひましょう。

2 外国語教育

すべての子どもたちに外国語を学ぶ喜びを！ ことばの力と協同する心を育て、平和な世界をめざす外国語教育の実践を交流しましょう。

3 社会科教育

学習指導要領により社会科教育の学習観が大きくゆがめられようとしています。いまこそ全国の実践をもとに、これからの社会科教育を考えていきましょう。

4 数学教育

子どもたちにとって本当に必要な“数学の学び”とは何か？ 生活につながる数学とは何か？ 子どもたちと創る授業実践をもとにみんなで話し合ひましょう。

5 理科教育

児童生徒の実態に即した学習課題と継続的な実践研究から、学ぶ楽しさが実感でき、科学的な認識を豊かに養える学習の在り方を探りましょう。

6 美術教育

子どもたちの表現に寄り添い、実践を読みひらき、表現者を育てる美術教育をみんなで考えます。日々の実践を持ち寄って、全国の仲間と交流しましょう。

7 音楽教育

コロナ禍を経て、子どもたちと教材を間にして育ち合う音楽の授業をどう工夫するか。なぜ歌うのか、音楽でどう語りかけることができるか、学び合ひましょう。

8 書写・書教育

「書で人間丸ごと育てる」という壮大な実践が様々な困難に負けず展開されています。主体的に書く子どもたちの生き生きとした作品を前に討論を行います。

9 技術・職業・情報教育

この分科会では技術・職業・情報教育が持っている魅力と、その「広がり」を「学び」へと進化・深化させる授業・教材への工夫について論議します。授業や教材の工夫による「学びの深まり」や子どもとともに学ぶことの「楽しさ」について、討論します。

10 家庭科教育

子どもたちの学びたいことや生活課題から出発し、ドキドキわくわくする授業、生活につながり主権者としての自主をめざす家庭科について語り合ひましょう。

11 体育・健康・食教育

新型コロナも5類に移行となりました。3年間の子どもの体と心への影響を検証し、すべての子どもに豊かな体育、健康教育(学校保健)、給食・食教育を保障するとりくみについて、実践報告をもとに学び合ひます。

A 参加と共同の学校づくり

子ども・青年の抱える多くの課題や苦悩(不登校や貧困問題等)に寄り添うとりくみや、子どもの現実と向き合い、子ども参加と父母・保護者、地域、教職員共同の学校づくり・教育条件の確立をすすめるとりくみをテーマにした分科会です。いじめ、不登校、学校統廃合、ICT、教職員の働き方…。いま問われている学校の課題を子どもの権利という視点で問い、主権者の参加と共同で進める学校づくりを考えます。

B 発達・学力、教育課程づくり

学力や発達の課題などを学び考え合い、子ども理解を進め、子どもの実態から出発した豊かな学びや教育課程づくり、教科書問題、「道徳」等について考え合うことをテーマにした分科会です。いま学校は、子どもの発達に適った教育課程になっているでしょうか。私たちがとられる狭い発達・学力観をのりこえるヒントを見つけ合ひましょう。

C 主権者の教育と生活指導・自治活動

当事者が考える様々な議題に向き合う自治活動につながる力をどのように育み実践が展開されたか、主権者教育やシティズンシップ教育の課題などとともに交流し合うことをテーマにした分科会です。子ども・青年の苦悩や願いを受け止め、主権者としての自覚と行動を高めることでの教職員の努力とともに、子ども・青年自身のとりくみを交流し合ひます。

D 子ども・青年たちの生きたい社会づくり

—平和・環境・ジェンダー平等と性を手がかりとして—

子ども・青年たちが平和・国際連帯、環境・公害問題、ジェンダー平等・性などの社会的課題に向かい、歴史に学びながら、自分たちの望む社会を自らの手で創造し、未来を切りひらいていけるためのとりくみを交流し、私たちに何が出来るかを彼らとともに考える分科会です。子ども・若者の声を聴きとって、もう一つの社会をともにつくりたいあなた、同じ思いの仲間を求めて、この分科会に参加しましょう。



教育のつどい2023 期間中の保育について

期間中の若い父母のみなさんの教育のつどい参加を保障すべく保育を予定しています。必要な保育担当者の人数や受け入れる部屋の大きさを事前に決める必要がありますので、ご要望がある場合は、事務局までご連絡下さい。

E 子どもの人権と学校・地域・家庭・文化活動

子どもをとりまく地域・家庭の課題から学校や社会を問い直し、子どもの発達の権利を保障する立場から、子育て・文化活動・図書館活動など社会の教育運動や子どもの「居場所づくり」のとりくみなどを交流し学び合ひ語り合うことをテーマにした分科会です。子どもの権利条約を基軸とし、子ども・学校・地域・家庭等がおかれている状況を話し合ひます。また、子どもの学習権や人権をとりもどすための議論を深めます。

F 障害児教育

障害のある子どもたちの発達を保障し、豊かな学びを創造することをテーマにした分科会です。コロナ禍を経て、いまあらためて「発達・学習権保障の道を強くすすもう！」をテーマに、全国からの35本のレポート報告・討論をもとに、子どもから出発する障害児教育について深めます。

G 青年期の学びと大学づくり

青年期の学習・発達課題に応える大学教育、高大接続、進路保障に関するとりくみ、国民と学問をつなぐ教育専門職としての教師の育ちなどをテーマにした分科会です。高校・大学の問題を広く教育問題の一環としてとらえ、学校種を越えた教育関係者、父母・地域住民らとともに青年期の教育課題に応えるための道筋を探っていきます。

教育のつどい2023

全体集会会場での手話通訳について

全体集会会場の座席などの都合がありますので、ご要望がある方は事務局までご連絡下さい。なお、ご要望が事前に寄せられない場合は、予告なく実施を取りやめる場合があります。あらかじめご了承ください。



問い合わせは
03-5211-0123
教育のつどい事務局
(全教気付)

保育・手話通訳のお問い合わせは、7月31日(月)までをお願いします。